

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 22 陣の記録

テーマ：メコン 4 か国 環境技術交流、

対象国：カンボジア、ラオス、タイ、ベトナム

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、メコン 4 か国（カンボジア、ラオス、タイ、ベトナム）より天然資源および環境分野に従事する公務員、学術関係者、学生等 19 名が、2020 年 2 月 4 日～2 月 12 日の 8 泊 9 日の日程で来日し、「環境技術交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、東京都内で日本の環境技術や廃棄物処理等関連施設等を視察し、日本における環境・インフラ対策の重要性を学びました。富山県では、テーマ関連の講義や大学での学生交流、またホームステイを体験し多角的に日本についての関心を高め、理解を深めました。神奈川県では、グリーンイノベーション推進に関する講義を聴講、持続可能な社会を創造し、後世の人々のためにより良い地球環境を残す大切さを学びました。また、一行はプログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 メコン 4 か国 19 名

（内訳）カンボジア 5 名、ラオス 5 名、タイ 5 名、ベトナム 4 名

【訪問地】 東京都、富山県、神奈川県

2. 日程

2 月 4 日（火） 【来日】

【オリエンテーション】

【表敬訪問】外務省

2 月 5 日（水） 【講義】日本の環境政策関連講義

【視察】東京スイソミル

2 月 6 日（木） 東京都から富山県へ移動

【視察・講義】オーバードホール内ハイビジョンシアター

【視察】富山ライトレール株式会社

2 月 7 日（金） 【交流・訪問】富山大学

【講義】富山県環境科学センター

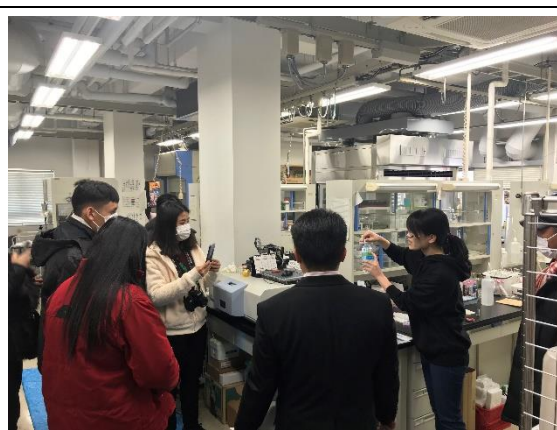
- 2月8日（土）【視察・講義】イタイイタイ病資料館
【ホームステイ】入村式
- 2月9日（日）【ホームステイ】離村式
富山県から東京都へ移動
- 2月10日（月）【講義】川崎市グリーンイノベーション推進に関する講義（川崎市）
【視察】東京都廃棄物埋立処理施設
- 2月11日（火）【視察・体験】NPO 多摩川エコミュージアム
【ワークショップ】
【成果報告会】
- 2月12日（水）【離日】

3. プログラム記録写真

	
2月4日【表敬訪問】外務省	2月5日【講義】日本の環境政策関連講義
	
2月5日【視察】東京スイソミル	2月6日【表敬・講義】SDGs 未来都市とやまに関する講義（富山市）



2月6日【視察】富山ライトレール株式会社



2月7日【学校交流】富山大学



2月7日【講義】富山県環境科学センター



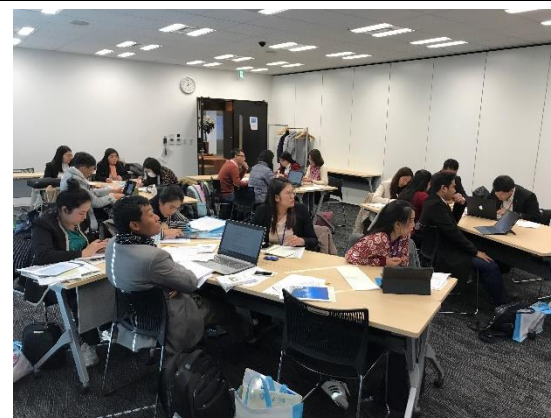
2月8日【視察・講義】イタイイタイ病資料館



2月8日【ホームステイ】入村式



2月10日【講義】川崎市グリーンイノベーション推進に関する講義（川崎市）

	
2月11日【視察・体験】NPO 多摩川エコ ミュージアム	2月11日【ワークショップ】
	
2月11日【報告会】	

4. 参加者の感想(抜粋)

社会人(カンボジア)

各見学は目的に沿っているし、訪問先や講義内容、時間なども良く練られていた。時間厳守の姿勢、プレゼンテーションや説明も詳しくスムーズに進行できていたことに感銘を受けた。交流を通じて得た学びがたくさんあった。帰国したら、政府機関や建物でゴミ分別を実施したいと思う。職場の同僚や友人、家族などに今回の貴重な経験について情報共有していきたい。

社会人(ラオス)

東京が清潔できれいだったこと、最先端のテクノロジー、卓越した環境マネジメント等が印象に残った。視察先の企業や訪問先で温かく迎えてくれたことは嬉しかった。日本の環境や、素晴らしいゴミ対策マネジメントについて学ぶことができた。個人的には、日本は清潔な国であるということ、日本人は大変マナーの良い国民である等、日本について紹介したいと思っている。その他、日本の最先端テクノロジーの活用等、今回自分が学んできたことを紹介したい。

社会人(タイ)

どこを見学する際にも、研修参加者をバスまでフレンドリーに出迎え、そして手を振って見送ってくれたことが最も良かった点であり、研修参加者がとても温かい気持ちになることができた。ホームステイしたこと、富山市の見学をしたことは、とても印象に残った。生活を共にした日本の家族が優しく温かい人たちであり、素晴らしい対応だったことに感動した。また、水素エネルギーに関する見学で得た知識を自分のタイの友達に伝えたい。

社会人(ベトナム)

日本人の環境保護に対する意識は非常に高く、私は素晴らしいと思った。さらに、このプログラムを通して、環境保護と廃棄物処理技術分野にとっても関心を持ち、理解を深めることが出来た。日本人の環境保護意識について家族、同僚、周りの人に共有、発信し、また、ベトナムの人々は、それを学ぶ必要がある。今後も日本の科学技術、テクノロジーなどを、もっと理解していきたい。

5. 受け入れ側の感想(抜粋)

朝日町(ホームステイ)

今年は例年になく暖冬で、ほとんど雪がなく、当初は雪が見られず、申し訳なく、残念かなあ〜と思っておりましたが、2月5日、6日と寒が入り、8日も雪が降りましたので、参加者のみなさまも雪と戯れておられ、笑顔があふれ、良かったです。こちらみなさんの笑顔が見られ、大変うれしい気持ちになりました。みなさん、短い時間でしたが、それぞれ民泊体験の楽しい時間をお過ごしただけです。離村の際は、みなさん、すぐくホストファミリーとのお別れを惜しんでいらっしゃいましたよ。民泊の反省会(意見交換会・精算)を開催しましたが、民泊オーナーさんも本当に楽しかったとのことで、またお受けさせていただきたいとのことです。

富山市

今回は、環境政策課と活力都市創造部路面電車推進課が共同で対応させて頂きました。限られた時間ではございましたが、富山市ならではの「路面電車によるまちづくり」を紹介させて頂く中で、SDGsに関する話も絡めながら講義ができて良かったです。参加者の皆様にとって実り多いプログラムになっておりましたら何よりです。またご協力できることなどございましたら、ご連絡いただければと存じます。

6. 参加者の対外発信



いいね! コメント シェアする オプション Messengerで送信
東京都にいます。



2月10日
Participants of JENESYS "Environmental Technology Exchange for 4 Mekong countries" are now enjoying snowy Japan!!
2月6日
Day 3 in Japan snowing
#jenesys2019
#jtb
#japan
いいね! コメント シェアする

カンボジア:東京スイソミルについて発信
水素エネルギーと環境保護に対する理解を深める。(Facebook)

ラオス:企業視察から発信
JENESYS 環境技術交流メコン4ヶ国の参加者たちは、いま、雪の多い日本を楽しんでいる!! (Facebook)



いいね! シェアする



いいね! コメント シェアする

タイ:富山県のホームステイについて発信
ホストファミリーは、私を心から歓迎した。彼らと過ごした海外での時間を私は一生忘れないだろう。(Facebook)

ベトナム:東京都から富山県へ移動中、電車の中のお弁当について発信 こんなにも美しいお弁当をどのように作るか、知ってる? (Facebook)

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表(抜粋)

Segregate Solid Waste at all government buildings and institutions - All government building and institutions will have a separate trash bin (Plastic, bottle and others). How are we going to implement this plan - Report to our Minister of Environment - Minister of Environment will recommend this idea to Economy and financial policy committee(Chair by Deputy Prime Minister, Minister of Economic and Finance). - Then EFPC will do report to our Prime Minister. - Royal Government of Cambodia decision.	Action Plan:⁴⁷ What?⁴⁸ The Five Year Action Plan 2016-2020 (FAP2020) sets the direction for implementing MONRE's first Natural Resources and Environment Strategy 2016-2025 with the overall goal of: ⁴⁹ "In order to achieve Vision 2030 build Lao PDR Green, Clean and Beautiful, Ministry of Natural Resources and Environment (MONRE) will, in cooperation with line sectors and international organisations, ensure an effective and efficient natural resources management and development system to support the national economic development in the direction of green growth to achieve sustainable development"⁵⁰ When and Where?⁵¹ - Department of Planning and Cooperation acts as a central coordination on monitoring and assessing implementation outcomes by coordinating with line Departments, and other relevant sectors periodically.⁵² How?⁵³ - To implement the this five years action plan 2016 – 2020 on natural resources and environment, the sources of funding will come from 3 sources: (1) Official Development Assistance, (2) Loaning Fund, and (3) Public Investment Budget. The ODA will utilised on water resources, environment, climate change and land sector.⁵⁴ The estimated investment fund on natural resources and environment during 2016–2020 will focus on 7 programmes and 55 priority projects with a total budget of 2,878,375 millions Kip (around 300,000,000 millions USD) which 415,617 millions Kip (46,000,000 Millions USD) are from Public Investment Budget and 2,467,200 millions Kip (300,000,000 million USD) are from ODA.⁵⁵ Japan Cooperation with Ministry of Natural Resources and Environment of Laos (MONRE):⁵⁶ - Bilateral Cooperation on the Joint Crediting Mechanism for the low Carbon Growth Partnership on 7th August 2013 between Ministry of Natural Resources and Environment of Lao PDR and Japanese Government;⁵⁷ - Bilateral cooperation between the Ministry of Natural Resources and Environment Lao PDR and the Japan International Cooperation Agency (JICA) to receive Japanese Experts to Ministry of Natural Resources and Environment, to work in waste management in conjunction with international cooperation through the JICA Laos Office on 18th October 2018;⁵⁸ - Multilateral agreement was signed the Memorandum of Understanding (MOU) on Environmental Management, Waste and Solar electricity between the Ministry of Natural Resources and the Environment, Daissou Company from Japan and Outron company on 28 February 2019.⁵⁹ Next step:⁶⁰ "The Project for Rehabilitation of the existing C Band Meteorological Doppler Radar System in the Lao P.D.R" with Department of Meteorology and Hydrology 2018-19 to JICA Laos Office;⁶¹ - Continue to research with Japanese experts for regulations and legislation on waste management in Lao PDR until 2020 (JICA, Department of Pollution Control, and Department of Planning and Cooperation).⁶²
アクション・プランの発表（カンボジア） カンボジア中央省庁、政府機関の全庁舎に分別用のゴミ箱を設置してゴミの分別徹底をはかる (詳細内容) カンボジアは過去の内戦を経て UNTAC 明石康氏の尽力もあり 1998 年に平和が達成された後、急速な経済発展を遂げてきた。国民の生活水準は向上したが、それに伴うゴミの量は増加の一途たどり、昨今ようやく国民に環境意識が芽生え始めたところである。そんな国状から、今回の訪日で印象に残った「日本のゴミ分別状況」を参考に、まずは国の全ての中央省庁や政府機関の庁舎に分別用のゴミ箱(プラスチック、ビン類、その他)を設置し、政府のゴミ分別をしていくという強い姿勢を打ち出していくことをアクション・プランとしたい。 実施計画としては、環境大臣へ今回の訪日成果を報告、同アクション・プランを提案し、大臣から国家経済金融委員会へ働きかけてもらい予算取りの目途をつけ、最終的にカンボジア王国政府判断で実施していく。	アクション・プランの発表（ラオス） 今回の訪日で得た収穫を、政府が掲げた環境ビジョン達成に向けて最大限に活用する。日本の支援機関とのタイアップもさらに深め、効果的な環境整備をはかる。 (詳細内容) ラオスが国として掲げる「2030 ビジョン」という目標には持続可能な社会の実現とともに環境保護の推進も含まれている。今回我々「天然資源・環境省(MoNRE)」から 5 名が JENESYS に参加、政府や自治体の環境政策や廃棄物管理、処理方法をはじめ、SDGs 実現のためのまちづくり、環境に優しい水素エネルギー、など数々の取り組みや新技術を紹介してもらい大変参考になった。また実際に清掃ボランティアに参加してみて、国民一人一人の環境意識から変えねばならないという思いを新たにした。ただ、まだまだノウハウが足りていないのが現状。今回の JENESYS で交流した方々から今後も技術支援や知的助言を必要とすることもあると思われるため、引き続きコンタクトをしていきたい。環境問題解決にむけて JICA にも協力してもらっており、こういった既存のプロジェクトや多くの専門家たちと協力しながら今後も MoNRE として積極的に日本と関わっていく。

Action Plan: Thailand
JENESYS2019

What?

We want to provide information in 3 tropic which we choose from many experiences of JENESYS2019 Trip.

- 1) Disposal & waste Management in Japan
- 2) Future Energy: Hydrogen Power
- 3) JENESYS2019 Special Experiences

When & Where?

In next three months, we will provide the information in the tropic that we are choosing from JENESYS2019 experiences. By showing the information through Social network services, our workplaces and Facebook fan page related to environmental study and activity.

How?

We will make many kind of contents such as short video clip, Infographic and bring them to promote by Facebook fan page.

Timeline of tasks

Tasks	March	April	June
1) Collecting information	→		
2) Making infographic and video clip		→	
3) Provide the information		→	
4) Monitoring and evaluation for reporting to JTB			→

Action plan relating to reduction of the use of plastic bags and increase in using renewable energy

SAY NO TO PLASTIC BAGS

Goal:

- Reduce the use of plastic bags, plastic waste
- Raise awareness of officials of all levels about the reduction of plastic waste
- Arrange financial resources for plans of reducing plastic waste
- Raise awareness of the use of renewable energy

Action plan relating to reduction of the use of plastic bags and increase in using renewable energy

SAY NO TO PLASTIC BAGS

Action steps:

- Through the activities of the Youth Union, we annually organize propaganda and education activities for officials and students of the natural resources and environment of not using plastic bags in daily activities such as shopping, bringing cloth bags instead of plastic bags
- We recommend to the Ministry Office not to use plastic bottles in the process of serving meetings and conferences but using glass mugs and stainless steel water containers. On average, there are 600 meetings at the Ministry of Natural Resources and Environment every year, an average of 20 people/meeting. Therefore, we will reduce a large amount of plastic waste.
- We recommend that the Ministry Office equip at least one vending machine to minimize plastic bags when ordering drinks, which also helps reduce air emissions due to transportation when shipping.

Action plan relating to reduction of the use of plastic bags and increase in using renewable energy

Responsibilities:

- We recommend to the Youth Union; Our team, the Youth Union, the officials of MONRE, students of the University of Natural resources and environment participate in the activities.
- We recommend to the Head of Department of International cooperation, who can consider the recommendations and make decision to suggest to higher leaders.
- We recommend to the Head of Department of Planning and Finance, who can consider the recommendations and make decision to suggest to higher leaders.
- We recommend to the Ministry Office to equip solar battery systems, wind power poles.
- **Timeline:** in 3 months when coming back Vietnam
- **Resources:** Human resources, knowledge, awareness, **budget**
- **Potential barriers:**
 - The habit of using plastic bags due to the convenience of plastic bags.
 - The limited funding of international organizations. It takes time for the plans or suggestions to get approved.
 - The limited funding of Vietnam's government. It takes time for the plans or suggestions to get approved.

アクション・プランの発表（タイ）

JENESYS プログラムでの発見や学び、日本ならではの体験を基に以下の 3 点に焦点を当てタイの出来るだけ多くの人々に共有・発信していく。

（詳細内容）

今回の訪日で、環境省や自治体の講義から多くを学んだ。また日本が推進する「水素社会」には大変感銘を受けた。エネルギー生成の際に CO2 ではなく水のみを排出するという水素の環境にやさしい点を多くのタイの人知ってもらいたい。ほか、ホームステイや大学、市民とのふれあい、交流を通じた特別な経験から日本の魅力や民泊の素晴らしさなどを多くの人々に伝えていきたい。以上から、下記 3 点にポイントを絞って SNS 等を活用して発信し情報共有を積極的にしていく。

1. 日本の廃棄物処理方法・管理体制の周知
2. 未来のエネルギー : エネルギーとしての水素利用
3. 日本の魅力発信

その際には、ショートビデオクリップを作成するなどして視聴者に訴える有効な手段を模索、活用する。

アクション・プランの発表（ベトナム）

レジ袋の削減と再生可能エネルギーの利用（詳細内容）

JENESYS 環境技術交流を通じて2つのアクション・プラン策定にたどりついた。一つは「レジ袋等プラスチックゴミの削減」もう一つは「再生可能エネルギー利用の奨励」である。日本で気づいたのは飲料水自動販売機の多さだ。各省庁舎に少なくとも 1 つの自動販売機を設置すれば、飲料水販売時に発生するプラスチックゴミの抑制につながるし、出荷時車両からの CO2 排出量も削減できる。さらに、省庁内の会議ではガラスコップやステンレスポットなどを用いることでペットボトル飲料の配布を無くせる。また、日本でも数多く見かけたのだが、ベトナム天然資源・環境省にも太陽光パネルや風力発電のタワーを設置し、省エネ・再生エネルギー利用のキャンペーンを打ち出す。実現にあたっては、プラスチックゴミ等環境問題について個々人の意識改革も必要で、政府高官のみならず若い世代への教育・研修、他農村部の住民への環境啓蒙活動も企画していきたい。ベトナムではこうした企画・予算が承認されるには時間がかかるが、関連省庁の上層部を巻き込んで粘り強く取り組んでいく。